



2022年10月31日

各 位

会社名 株式会社メディopalホールディングス  
代表者名 代表取締役社長 渡辺 秀一  
(コード番号 7459 東証プライム市場)  
問合せ先 常務取締役管理本部長 左近 祐史  
(TEL. (03) 3517-5171)

## 中期ビジョンの策定に関するお知らせ

当社は、2023年3月期から2027年3月期までの5年間の新たな中期ビジョンとして「2027メディopal中期ビジョン **Change the 卸 Forever** ～たゆまぬ変革を～」(以下、本ビジョンという)を策定しましたので、その概要について下記のとおりお知らせします。

記

### 1. 策定の目的

当社グループは、「流通価値の創造を通じて人々の健康と社会の発展に貢献します。」の経営理念に沿った事業活動を展開しています。このたび、当社グループの未来を見据え、経営理念に基づいた「ありたい姿」として『医療と健康、美』を広げ、支え、つなぐ健康応援オーケストラを新たに掲げます。「医療と健康、美」の事業フィールドにおいて、従来の枠組みに捉われず、社会価値・顧客価値を創造する事業を「広げ」、強固な流通インフラで「支え」、さまざまな分野のパートナーが持つ価値を「つなぐ」ことで、誰もが心身ともに健やかな社会の実現と、企業価値の向上を目指していきます。

本ビジョンは、この「ありたい姿」を実現する戦略として位置付けています。またサステナビリティ方針<sup>\*</sup>のもと特定した重要課題についても戦略に反映しています。

※詳細については、2022年10月31日付のニュースリリース「サステナビリティ方針の策定に関するお知らせ」をご覧ください。

### 2. 策定の背景

人口減少・少子高齢化、デジタル技術の進歩や科学技術の革新などにより、人々の価値観は大きく変化しています。「医療と健康、美」の事業フィールドでは、健康寿命の延伸ニーズや予防・未病への関心の高まりが予測されています。あわせて環境問題への取組みは喫緊の課題となっています。

また物流面においては、環境負荷の低減を伴う効率化が求められる一方で、遺伝子治療や再生医療をはじめとする革新的な技術や医薬品の登場により、温度や振動などを管理できる高度な物流技術の必要性が高まっています。

当社グループでは、2014年4月以降、ビジョンの方向性に「Change the 卸」を掲げており、変化に左右されない新たな事業と物流基盤の強化により、成長の歩みを進めています。今後

もさまざまな変化を機会と捉え、当社グループの強みを活かした事業を展開していきます。

### 3. 2027メディカル中期ビジョンの概要

#### <基本方針>

## **Change the 卸 *Forever* ~たゆまぬ変革を~** 事業ポートフォリオのシフトとパートナーとの協働で変革・成長する

5つの成長戦略を「事業ポートフォリオのシフト」と「パートナーとの協働」により展開します。成長戦略は人材戦略・財務戦略を基盤としており、戦略の実行を通じて社会価値・顧客価値を創造し、当社グループの持続的成長を目指します。

#### 【成長戦略】

##### (1) 海外への進出

当社グループの有する高度な流通ノウハウを活かし、パートナーとの連携による新たなグローバルビジネスに挑戦します。

##### (2) 予防・未病、アグロ・フーズ領域の事業拡大

- ① 病気を未然に防ぐために予防・未病領域に資源を投下し、最先端の検査機器・試薬など、取扱い商品の拡大を進めます。
- ② コンパニオンアニマル<sup>※</sup>関連商品や食品加工原材料等に関わる事業をさらに強化・拡大します。

##### (3) デジタルを活用したビジネス基盤の強化

人々の健康増進や医療の効率化を目指し、ヘルスケアのデジタルプラットフォーム構築と収益化を進めます。

##### (4) 持続可能な流通の構築

- ① 株式会社メディスケット（埼玉県三郷市）を通じて、「医療と健康、美」を支える国内最大のヘルスケア物流プラットフォームの構築を加速します。
- ② 製薬企業から患者さんまで、医薬品の温度や振動などの品質情報を一元管理するトレーサビリティの完全化を目指します。
- ③ サプライチェーンの無駄を無くし、温室効果ガス排出量削減や生産性向上、働き方改革を進めます。
- ④ 化粧品・日用品、一般用医薬品の流通において、サプライチェーンの連携・協働をさらに強化・拡大します。

##### (5) 地域医療における価値共創

地域のヘルスケア課題を解決することで新たな社会価値を創造し、基盤である医薬品等卸売事業を強化します。

<sup>※</sup>コンパニオンアニマルとは、伴侶動物とも表現され、日常生活の中で人とより密接な関係を保つような動物を指しています。

#### 【人材戦略】

当社グループの未来を担う「未来志向型人材の育成」を積極的に推進し、「創造性豊かな企業文化醸成」および「多様な人材活躍」を促す施策を実践します。

なお、2022年10月に人材戦略部を創設し、人材投資として5年間で100億円を計画しています。

#### 【財務戦略】

成長戦略の実行により収益性を高め、生み出す営業キャッシュフローを原資として、成長投資、設備投資、株主還元を行います。

### 4. 経営目標

#### 【主要財務指標】

項目		目標
総合収益性	ROE	5年後に9%
	経常利益額	5年後に1,000億円
投資	成長投資	5年間で1,000億円
株主還元	総還元性向	40%を目安に安定配当

#### 【成長戦略を通じたESG課題解決】

成長戦略の実行においてESG課題の解決を着実に遂行していくために、中長期の目標を設定しました。

項目		目標
環境	脱炭素への取組み	温室効果ガス排出量※ 2030年度 50%削減（2020年度比） 2050年度 カーボンニュートラル ※Scope1 と Scope2 の合算
		女性活躍推進 2030年度 管理職に占める女性割合20%以上
社会	ダイバーシティ&インクルージョンの推進	女性活躍推進 2030年度 管理職に占める女性割合20%以上
企業統治	健全で透明性の高い企業経営	コンプライアンスに関する研修の拡充 グループ会社に対応したガバナンス体制の強化

以上